



釧路港国際物流ターミナル整備事業

東北海道の酪農生産基盤を強化する釧路港

現在 now



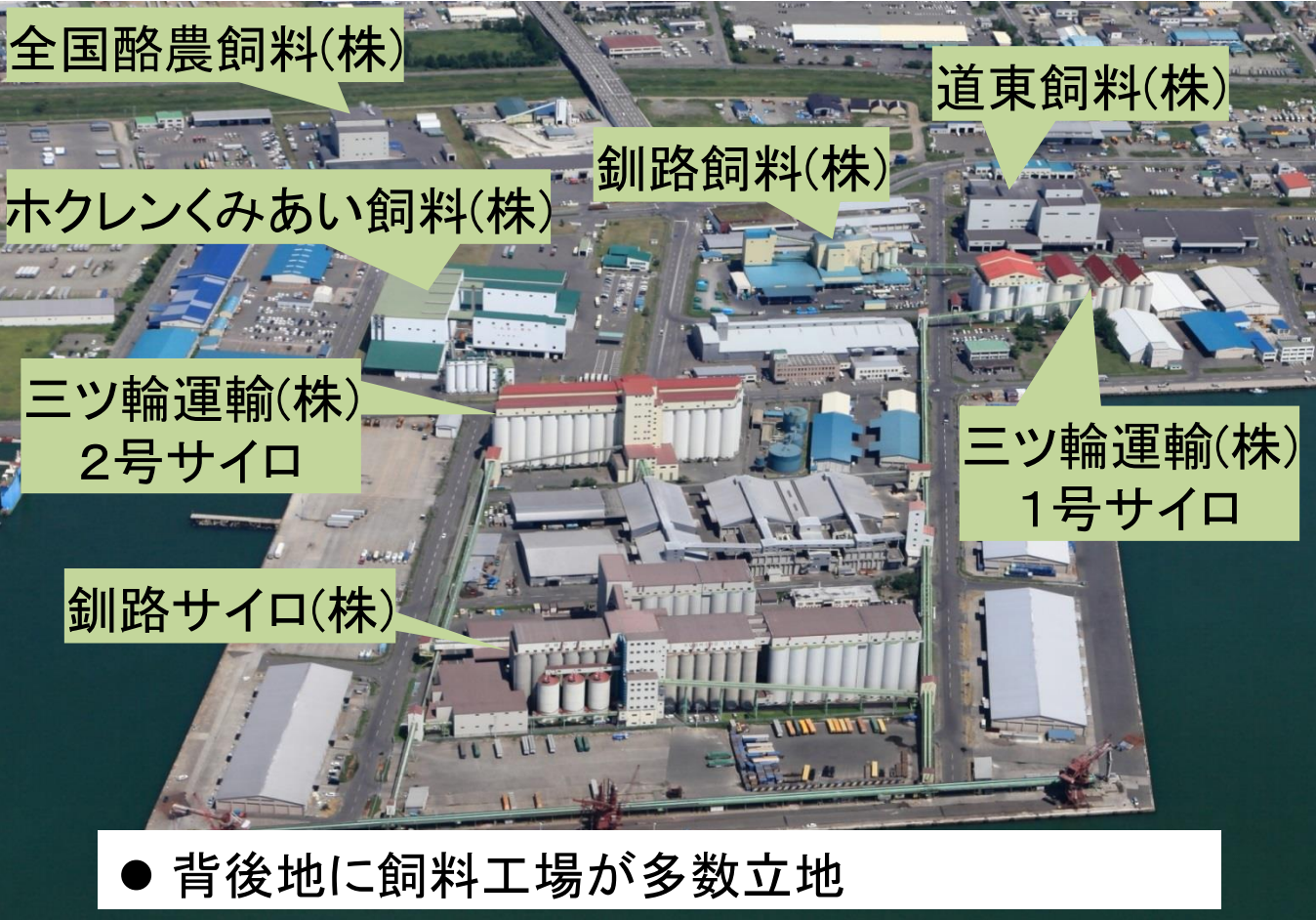
将来 future

インフラ



西港区 第2埠頭 岸壁(水深12m)

地域



● 背後地に飼料工場が多数立地

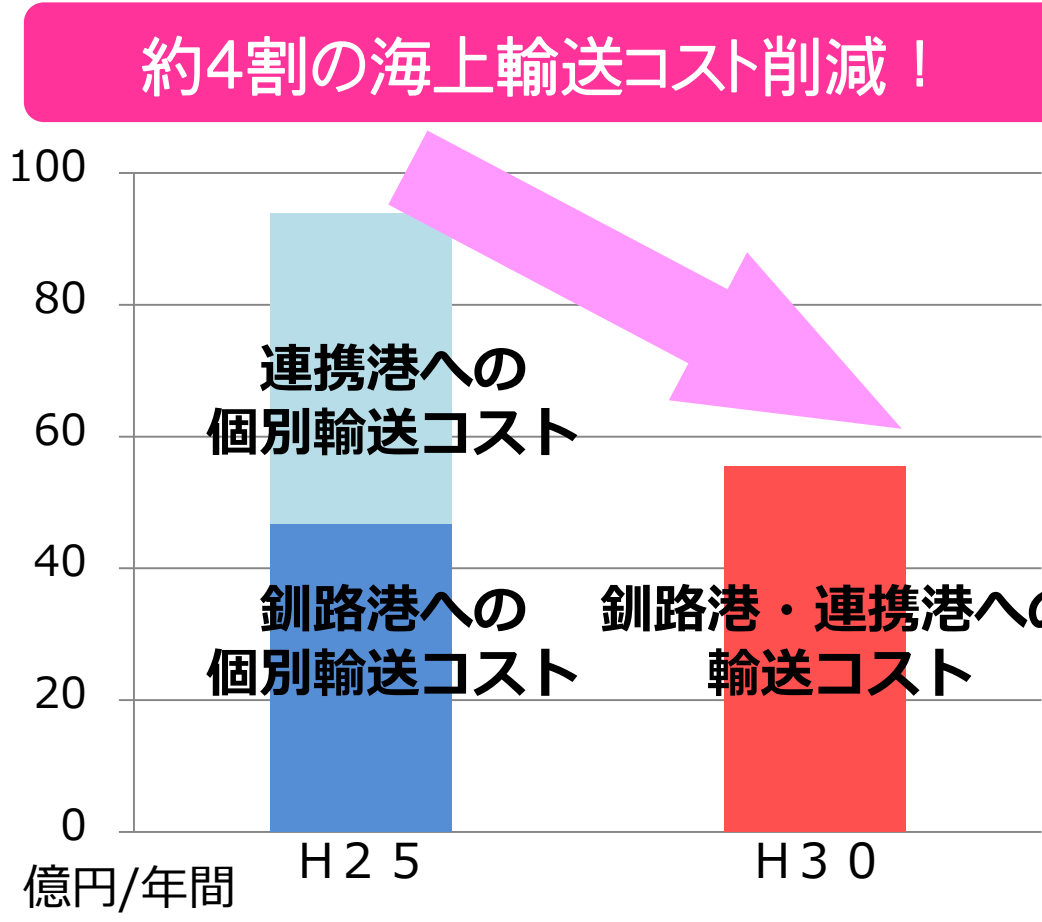
岸壁水深14m
荷役機械等を整備



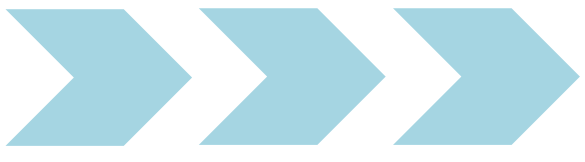


西港区 第2埠頭地区
荷役機械
岸壁(水深14m)
延長:300m

約4割の海上輸送コスト削減！



連携港への
個別輸送コスト
釧路港への
個別輸送コスト
釧路港・連携港への
輸送コスト
億円/年間 H25 H30



〈企業の声〉
ニーズの高まりや、運搬コストの削減、国際バルク
港整備を踏まえサイロの増設を決めました。



三ツ輪運輸(株)2号サイロ
14基増設



釧路飼料(株)
28基増設

平成30年 利用開始予定

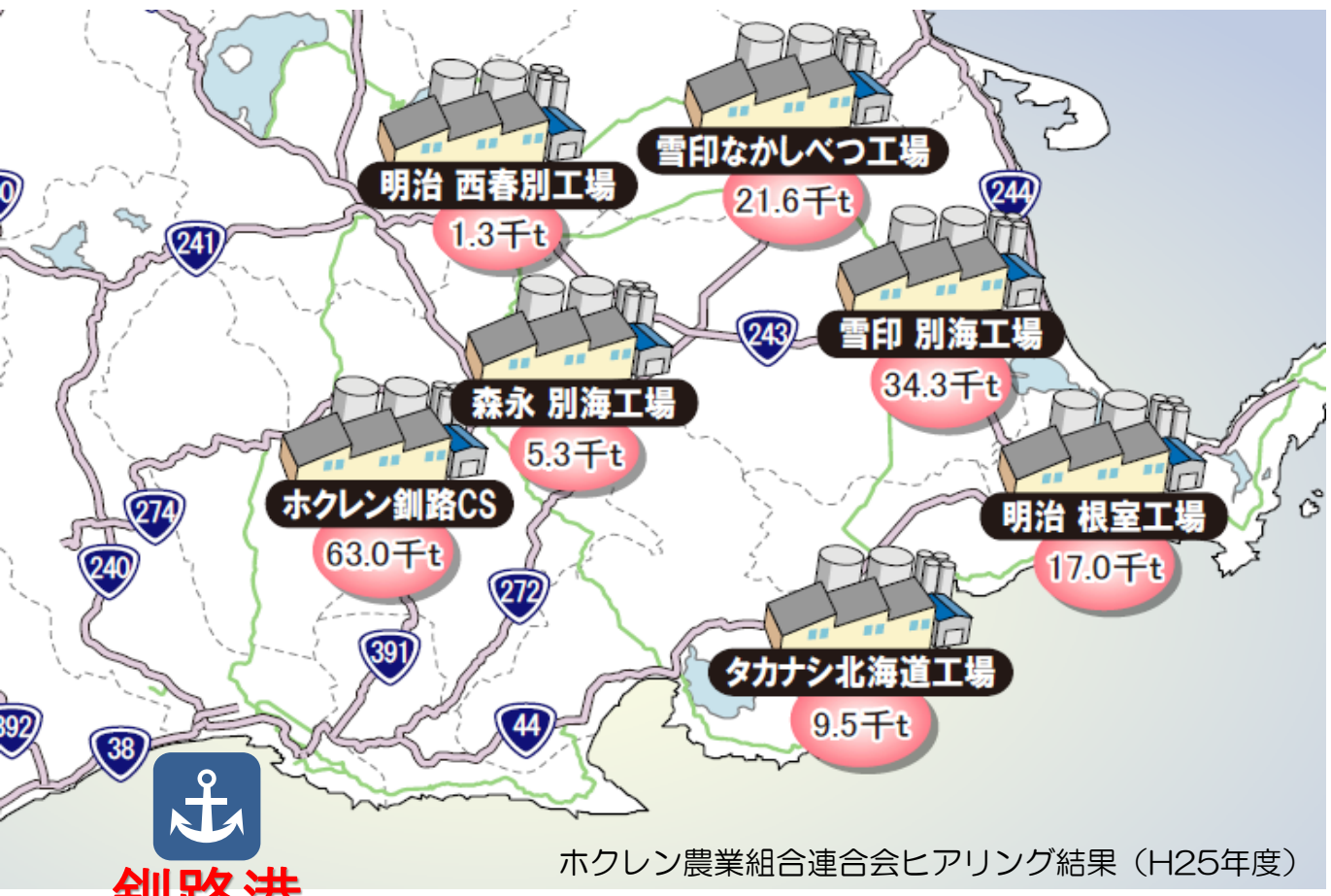
供給能力の増強

大型船が入港可能な岸壁整備により、飼料原料の海上輸送コストを削減

飼料原料の輸送コストの削減や企業のサイロ増設等により、安定的かつ安価な供給体制が構築

これにより、酪農家の経営改善及び生産力向上が期待

東北海道の牛乳工場



釧路港